

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：本江他美夫 幹事：長谷川壘人

情報委員長：春田義正

1986・11月27日 第329号

聾啞者問題の理解と解決のために

石川県聴覚言語障害者福祉協会

常任理事 北野 雅子氏



私は3才の時から聴力を失い、今は全く聞こえませんが、元気に生活しております。今日手話通訳をしている高柳さんとは6年程前に私と初めて会いました。家庭の主婦だったのですが、家庭にいただけでなく何か聾啞者のお手伝いをしたいといわれるので、協会に入らせていただきました。その時は手話が全く判らない状態でしたが私と何度も会っているうちに手話通訳が出来るまでに伸びてくれました。今日は私等耳が聞こえない者が本当に困っていることをお話したいと思います。その前に聾啞者とはどんな者であるかをお話したいと思います。

耳が全く聞こえない、従って話が全く出来ない人を聾啞者と言います。その中には生まれながらにして全く耳が聞こえない人、従って一度も話をした経験のない人もいますし、私のように小さい時に病気で聞こえなくなった人もおります。大きくなって病気で段々耳が遠くなって遂に聞こえなくなった方もいます。ですから手話を使ってコミュニケーションを図らなければならない人を総て聾啞者と言っています。聾啞者は耳が聞こえません。だから言葉を聞いたことも有りません。耳が聞こえないので言葉が判らない。だから話せないということになるのです。

次の障害として情報が耳に入ってこないことがあります。そのために健常者のようにコミュニケーションがとれません。そのために社会生活を普通に送るためには、どうしても手話通訳者の助けが必要なのです。そのような方が沢山できて私たちと自由にお話ができるようになることを願っております。次に手話について少しお話をしたいと思います。手話は聾啞者自身が自分等の必要のために作ったものです。明治11年京都で初めて聾教育が始まりました。聾啞者は音による言葉の伝達方法がないので、身振り、手振りを加えて手話を形作っていったのです。皆さんも真剣に聾啞者の手話を見ていただければ、自然にお判りになる所が有ると思います。また手話には顔の表情が大事な要件です。ですから手話はみっともないとか、オーバーだとか言われます。長い間手話に対する偏見、蔑視が続いて来ました。そのために私等の生活も隠れて暮らすような状態が続きました。今は段々と手話に対する理解が進んで、安心して道で手話ができるようになりました。しかし手話だけは普及してきても、聾啞者の生活状態や悩み等が充分理解されていません。

私は3つまで聞こえましたので、その残された言葉を大事に膨らませて多少「口話」が出来ますが、一般の方は聾啞学校の先生のように、口を大きく開けてはっきり話しては呉れませんので私達には理解できません。また私の子供を病院に連れて行って、私なりの口話で懸命に病状を説明したのですが、口話を理解する努力をして下さらなくて病状が悪くなってしまったという経験もあります。聾啞者の場合その障害は見えません。その障害は軽く見られがちです。しかし生き

(中面につづく)

ているかぎりコミュニケーションがとれないことは、不幸な苦しいことなのです。テレビを見ても分かりませんし、先程の音楽も全然聞こえませんでした。企業に勤めている聾啞者は真面目に働いていて評価されていますが、会議には参加できませんし、社員との会話にも入れません。私たちは大変寂しい気持ちで生活しているのだということを理解して頂きたいのです。手話通訳者はボランティアで増えてきましたが永く続く方が少ないのです。私たちは手話通訳を頼みたいと思っても、今迷惑でないかどうかと相手の顔色を見てお願いしなければなりません。私達が利用するあらゆる機関に手話通訳者がいて、気軽に通訳が頼めるようになって欲しいとおもいます。そのような思いで今度「I love communication」のパンフを作りました。私たち連盟では手話通訳者の制度化の運動をしています。厚生省でも心情的な理解はしても予算措置は中々進みません。私達は今全国民の10%の方にこのパンフを読んで頂く運動を行っています。聾啞者が聞こえないためにどんな環境にあるのか、聾啞者にどんな事が必要なのかというようなことがこのパンフには書いてあります。これをお読み頂くことで聾啞者対策に御理解願うとともに、アンケートに聾啞者対策に対する御意見を頂きたいと思えます。皆様の声を積み上げて私たちの運動を推進して行きたいと思えます。

—金沢北RC例会講話より— (文責 鈴木 透)

私の職業奉仕

畠 善 昭



税理士と呼ばれる職業会計人は、一般に自由業であると言われていたが、実は大変な不自由業である。日本経済は、高度成長経済から自律調整期を経て縮小均衡期に入っていることはご高承のとおりであります。その時代の変遷に応じて企業側からみて私共職業会計人にかけている諸問題は多く、そのことが結果として時間管理を困難ならしめ、自由業の特権を剥奪している感すらうける。私の税理士事務所は経営の総合コンサルタントとして、その経営理念の一項目に次の職業観があげられている。

“我々はクライアントの正しい防衛と発展のため英知を結集することを義務づけられている。——クライアント即ち関与先企業を防衛発展させていく事が私の使命であります。企業が、成長、発展して

いくためには、企業経営における攻めの分野と守りの分野がうまく調和されていなければ、永遠の成長要因を具備されているとは言い難い。即ち、攻めの分野は経営助言業務である。

企業は、最高経営力機能、営業力機能、物流（生産力）機能、財務機能、組織開発機能の五機能から構築されているものであり、その中で一番重要な骨格は言うまでもなく、最高経営力機能である。これら五機能の成長要因と成長阻害要因を徹底的に分析解明し、伸びていくための条件整備を図り非価格競争体質実現にむけて、計画と管理による組織主導型の経営体質転換の業務である。又、税理士業務の主要業務である法律業務も、守りの分野で私に与えられた最大の課題であると認識する。特に最近世代交替期に突入しており、オーナー経営者から二代目経営者に社長の座が引き継がれているが、経営権もさることながら、所有権（財産権）に対しても慎重に対応していかなければならない。所有権は一般に相続税なる税目で精算される訳であるが、万が一発生の場合に備えて、五年間位の時間を味方にして、生前相続（あえて生前贈与とは言わない）によって財産の保全管理を行って、ムダのない納税をすることが守りの業務である。

この様に私共は企業の第三者として、企業の攻めと守りの諸要因を分析し解決するお手伝いをさせていただいている時、私の無上の喜びとしているところであり、今後とも精進したいと自己への誓いを改たにするものである。

合 掌

理事會報告

11月13日(木) 出席者15名

- ◆金沢5RC合同役員會報告
 1. ポリオプラス街頭募金キャンペーン精算の件
 2. 共同募金寄付の件 50,000円
 3. その他
- ◆ソフトボール大会精算書の件
- ◆南光州RC来日の件
6名に限定していただく。
- ◆次期役員選出の件
11月27日 例会後選考委員会
(本江、長谷川、沢田、米沢(修)、俵、本岡、木島)
- ◆各委員会報告
 - 拡大委員会 新会員の件
- ◆その他
 - 12月25日 金沢東・北RC合同例会
 - 新年会は2月の節分会と併せて行なう。

今週の花

吉山宥海
(11月13日)

まゆみ照葉
ほとゝぎす
紺 菊



10月例会出席状況

出席率 100%

月日	12/2	12/9	12/16	12/24	12/30	10月	月日	12/2	12/9	12/16	12/24	12/30	10月
浅田 禎男	M	○	M	M	M	◎	大場 勝雄	○	○	○	M	M	◎
浅田 豊久	M	M	○	○	○	◎	大場 吉美	○	○	○	○	○	◎
浅野 弘明	M	○	M	○	M	◎	大場 村久	M	○	M	M	○	◎
安宅 雅夫	M	M	M	M	M	◎	大及 沢川	○	M	○	○	M	◎
二木 正樹	○	○	○	○	○	◎	岡田 林太郎	M	○	M	M	M	◎
二塚 長生	○	○	○	○	○	◎	岡田 田進	○	○	M	M	○	◎
合田 昌英	○	○	○	M	M	◎	奥田 久雄	○	○	○	○	○	◎
春田 義正	M	○	○	○	M	◎	乙坂 村下	○	○	○	M	○	◎
長谷川 塑善	○	M	M	○	M	◎	坂井 健太郎	○	M	○	M	M	◎
富士 江他美	○	○	○	○	○	◎	桜井 哲夫	○	○	○	○	○	◎
本市 川則	○	○	M	○	○	◎	関田 三郎	○	○	○	○	M	◎
飯野 健夫	○	○	○	○	○	◎	柴田 水村	○	M	M	○	M	◎
石丸 貞吉	○	○	○	○	M	◎	清塩 喜代	M	○	○	○	M	◎
磯金 貝子	M	M	M	○	M	◎	塩木 透丸	○	○	○	○	M	◎
勝田 新誠	○	M	M	○	○	◎	高島 菊	M	○	○	○	○	◎
木島 光仁	M	○	○	○	○	◎	高滝 憲三	○	M	M	○	M	◎
木村 下和	○	M	○	○	M	◎	俵 土田	○	○	○	M	○	◎
小林 隆吉	○	○	M	○	M	◎	土原 一	○	出	席	○	除	◎
小駒 栄敏	○	○	M	○	M	◎	土田 一成	○	○	M	○	○	◎
小間井 宏尚	○	○	M	○	M	◎	佃 田住	M	○	M	○	○	◎
越田 和民	○	○	○	○	M	◎	上野 安彦	○	M	M	○	○	◎
越野 民男	○	○	○	○	M	◎	上野 三健	○	○	○	○	M	◎
小小杉 守善	○	M	出	○	除	◎	早稲田 健一	○	M	○	○	○	◎
小増 江泰	M	○	M	○	M	◎	山岸 啓介	○	○	○	M	○	◎
松岡 三千郎	M	○	○	○	○	◎	山米 真修	M	○	○	M	M	◎
本宗 田市	○	出	席	○	除	◎	米沢 二一	○	○	M	○	○	◎
村中 田完	○	○	○	○	M	◎	吉田 富士	○	○	○	○	M	◎
中村 村三省	○	○	○	○	M	◎	由井 一	M	○	○	○	M	◎
中島 汎仁	○	M	○	○	M	◎	吉岡 宥海	○	M	○	○	M	◎
中谷 栄治	○	○	○	○	○	◎							

